

- 問1 アメリカ合衆国の都市デンバーは、その地理的特徴から「標高1マイルの街（マイル・ハイ・シティー）」という愛称で呼ばれます。この由来となった都市の環境について説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2019年 岩手県公立入試 類似）
- メキシコ湾沿岸の湿地帯に位置し、1マイル四方の広大な宇宙拠点があること
 - ロッキー山脈の東麓に位置し、市街地の標高が約1,600mであること
 - 北東部の大西洋沿岸に位置し、1マイルの長さの巨大な港湾施設があること
 - 五大湖の西側に位置し、1マイル以上にわたって高層ビルが立ち並ぶこと
- 問2 アメリカ合衆国の南東部において、アフリカ系住民の人口割合が高い状態が続いている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）
- メキシコとの戦争によって獲得した領土に、もともと居住していたアフリカ系の人々が、そのままアメリカ合衆国の市民となったため。
 - 19世紀半ばにカリフォルニア州で金鉱が発見された際、鉱山労働者としてアフリカから多くの人々が自発的に移住してきたため。
 - 18世紀から19世紀にかけて、綿花やタバコを栽培するプランテーションの労働力として、アフリカから多くの人々が強制的に連れてこられたため。
 - 第二次世界大戦後、南部地域の温暖な気候を求めて、北部工業地帯から多くのアフリカ系住民がレジャー産業に従事するために移動したため。
- 問3 アメリカ合衆国のサンベルトに含まれる地域のうち、カリフォルニア州に位置し、近隣の大学や研究機関と連携することで多くのIT企業が集積した、世界的な先端技術産業の拠点を何と呼びますか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- ウォール街
 - デトロイト
 - ヒューストン
 - シリコンバレー
- 問4 アメリカ合衆国の西経100度付近にある年間降水量約500mmの等降水量線付近では、土地の乾燥を克服するために「センターピボット」と呼ばれる灌漑施設が導入されています。この農業方式の仕組みと環境条件について述べた文として、最も適切なものを答えなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）
- ミシシッピ川の豊富な地表水を水路で引き込み、雨水のみに頼らない伝統的な棚田での稲作を行っている。
 - 地下水をくみ上げ、回転式のスプリングラワーで散水することで、降水量の少ない地域での大規模な耕作を可能にしている。
 - 年間降水量が1000mmを超える湿润な気候を利用し、自走式のスプリングラワーで効率的に肥料を散布している。
 - 熱帯低気圧がもたらす多量の雨水を貯水池に蓄え、それを利用して広大な円形の水田を維持している。
- 問5 アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置し、1970年代以降に航空宇宙産業や情報通信産業などの先端技術産業が急速に発達した地域を何と呼びますか。（2017年 山口県公立入試 類似）
- スノーベルト
 - シリコンバレー
 - サンベルト
 - ラストベルト
- 問6 アメリカ合衆国の工業地域が、北東部のスノーベルトから南部のサンベルトへ移行していった背景を説明した文として、適切なものを選びなさい。（2024年 新潟県公立入試 類似）
- 冷帯気候による厳しい冬を避け、綿花栽培を中心とした農業に回帰したため
 - 温暖な気候で労働環境が良く、先端技術を持つ企業や労働者が移動したため
 - 五大湖の資源が枯渇したため、メキシコ湾周辺の鉄鉱石を求めて移動したため
 - 北緯37度以北の地域で、ICT産業（情報通信技術産業）が法律によって禁止されたため
- 問7 北アメリカ大陸南部に位置し、アメリカ合衆国やカナダとの間で、域内の関税を原則として撤廃することを目的とした北米自由貿易協定（NAFTA）を締結した国はどこですか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- ブラジル
 - コロンビア
 - アルゼンチン
 - メキシコ
- 問8 アメリカ合衆国において、国内で複数の標準時（タイムゾーン）が設定されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
- 太平洋から大西洋まで複数の海域に面しており、海流の影響で気象条件が異なるため
 - 国土が東西に非常に広く、地域によって太陽が南中する時刻に大きな差があるため
 - 各州が強い自治権を持っており、州ごとに自由に標準時を決める権利があるため
 - 北緯40度付近を境にして、北側と南側で昼夜の長さの逆転現象が起るため
- 問9 アメリカ合衆国の地域別工業生産額の変化を示す資料において、近年その割合を大きく伸ばしている太平洋岸地域。その中心の一つであるサンフランシスコ近郊に位置し、半導体やソフトウェアなどの先端技術産業が高度に集積している地域を何と呼びますか。（2022年 島根県公立入試 類似）
- デトロイト
 - シリコンバレー
 - サンベルト
 - ピッツバーグ
- 問10 アメリカ合衆国のアラスカ州に位置するアンカレジは、国際的な航空交通の拠点（ハブ空港）として重要な役割を果たしてきました。この都市が航空路の拠点として発展した地理的な理由と、その機能について説明したものとして最も適切なものを選んでください。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- 近隣で産出される原油や天然ガスの価格が安く、燃料を安価に提供できるため、世界最大の給油地となった。
 - 北米大陸を縦断する鉄道と、北極海航路を繋ぐ港湾施設が整備された、陸海空の交通の結節点である。
 - 東アジアと北アメリカを結ぶ最短経路付近に位置しており、航空機の給油拠点として利用されている。
 - 北極圏に近いものの、暖流の影響で一年中気候が安定しており、欠航が非常に少ないため拠点となった。
- 問11 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ周辺の地域では、年間の平均気温が約15.8度、年降水量が約401.8mmで、特に夏季の降水量が極端に少なくなっています。このような気候の特徴と、1950年代以降にこの地域で急速に成長した産業の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
- 沿岸を流れる寒流の影響で夏季もそれほど高温にならず、乾燥する地中海性気候に属している。産業面では半導体などの情報通信技術（ICT）に関連する企業が成長した。
 - 偏西風の影響で夏は涼しく冬は温暖で、一年中平均して雨が降る西岸海洋性気候に属している。産業面ではデトロイトを中心とした自動車産業の集積地となった。
 - 赤道に近い低緯度のため一年中高湿多湿な熱帯雨林気候に属している。産業面ではサトウキビなどのプランテーション農業やバイオ燃料の製造が盛んである。
 - 暖流の影響で年間を通じて温暖で降水量が多い温暖湿潤気候に属している。産業面では広大な土地を利用した大規模な綿花栽培や繊維工業が発展した。
- 問12 アメリカ合衆国のサンフランシスコ近郊にあるシリコンバレーについて、この地域で急速に発展した産業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）
- IC（半導体）やソフトウェア開発を中心とした、知識集約型の先端技術産業
 - 豊富な労働力と広大な土地を背景とした、自動車の大量生産を行う機械工業
 - 五大湖周辺の鉄鉱石と石炭を結びつけた、大規模な鉄鋼業
 - ミシシッピ川流域の肥沃な土地を利用した、綿花栽培とそれに関連する繊維工業